



広報

ごじょうめ

- 新農業委員決まる……………2・3
- 全町盆踊り大会……………4
- 五城目城特別展……………5
- ヘリコプター防除……………6
- カメラレポート……………7
- スポーツコーナー……………8
- お知らせコーナー……………9
- 野草のたのしみ……………10

町民憲章

教育を進め 文化の香り高い町をつくります

願いごとは何かな……



馬場目保育所にて



広報紙中にある写真を欲しい方は
おあげします

No. **569**

昭和**62**年（1987年）

8月 **1** 日

（毎月1日・15日発行）

発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100代

印刷／五城目印刷 ☎ 0188 (52) 3531代

七夕

ふるさと歳時記

五色の色紙、たんざくに願
いごとを書いてささ竹に飾り、
ウリ、ナス、カボチャなどを供
え、子供たちの読み書き、手仕
事の上達を祈ります。天の川
を眺めながら梅雨を送りまし
よう。

七月七日の夜、彦星と織姫
が年一回天の川で出会うとい
う愛の物語は、中国から伝わ
ったものです。

しかし、七月七日の行事は
この物語が伝わってくる以前
から日本にありました。東京
などでは七月七日、地方によ
っては月遅れの八月七日に行
ないます。秋田では八月です。

♪ ささのは さらさら
のきばに ゆれる
♪ おほしさま きらきら
きんぎん すなご
♪

新農業委員顔ぶれ決まる

会長に 澤田石氏再選

任期満了に伴う農業委員の一般選挙立候補の受付が、七月七日、午前八時三十分より役場正庁で行われました。

その結果、第一選挙区（内川、富津内地区）六名、第二選挙区（馬場目、五城目地区）七名、第三選挙区（大川、森山地区）四名、計十七名の定数に対し、各地区とも同数の届け出があったため、無競争当選となりました。

また、議会、農業協同組合、農業共済組合からの推薦委員も発表され、二十二名の新しい農業委員が決まりました。委員の任期は、昭和六十二年七月二十日から昭和六十五年七月十九日までです。

（敬称略）



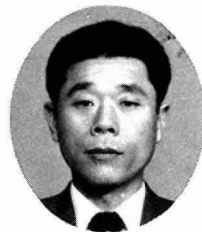
大石 市三郎
下山内 57歳



会長職務代理
佐々木 忠雄
恋地 55歳



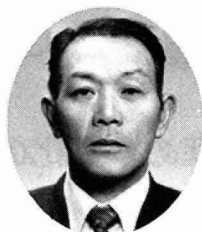
会長
澤田 石 榮之助
湯ノ又 59歳



石井 章司
黒土 45歳



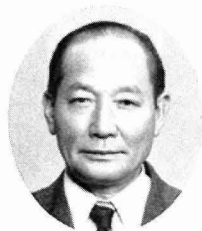
猿田 勇
浅見内 55歳



伊藤 重孝
落合 55歳



伊藤 榮之助
久保 61歳



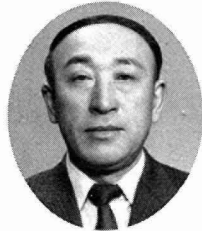
館岡 良三
高崎 58歳



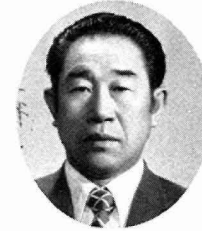
猿田 清
上樋口 49歳



佐藤 孝志
谷地中 50歳



千田 雄一
西野 54歳



伊藤 儀一郎
大川 55歳



金野 房治
蓬内台 68歳



猿田 日出男
上樋口 58歳



齊藤 金寿
館越 55歳



草皆 隆悦
帝釈寺 54歳



猿田 俊雄
上樋口 55歳



佐々木 吉三郎
岡本 61歳

▼農業共済組合推薦委員

▼農業協同組合推薦委員

▼議会推薦委員

▼議会推薦委員

▼議会推薦委員

雪国である秋田を含めた東北地方を、主食生産基地にし、国際化に対応できる農業を目指すために、農地整備を積極的に推進し、経営規模拡大態勢を整えるとともに、農地流動化、後継者対策、中核農家育成に力を注いで欲しい。

併せて我々農家も、昔から連綿として受け継がれてきた農村社会の伝統を守り続けながら、進展する社会の中で農業に前向きに取り組んでいきたい。

●小林正志さん(41歳・農業)
(富津内下山内)

厳しい農業に取り組まざるを得ない現実にあるにもかかわらず、今私達農家の中にあきらめムードが広がってきていると思われます。このような時にこそ農業委員の皆さんで、将来も農業で生きていくために、何をしなければならぬのか、しっかりとした五城目町農業の方向を農民の総力を上げてつくり出すきっかけをつくってもらいたいと思います。

●工藤松子さん(37歳・農業)
(大川下樋口)

新農業委員に
期待します



島 山 和 男
富田 52歳



渡 部 昭三郎
御蔵町 59歳



伊 藤 新 悦
町村 57歳



佐々木 仁 光
岡本 62歳

澤田石会長

抱負を語る

第十三回目の全国統一選挙となる農業委員の改選が去る十二日行われ、公選、学識合わせて二十二名の新農業委員が誕生した。

これから三年間本町農政の最先端にあつて、その大きい農委の役割を思うとき身の引き締まる思いがする。構造改善など農業諸改革への志向も

表彰

故岡岡辰一郎氏に

勲六等瑞宝章



賞状を手にする
故岡岡辰一郎氏夫人

故岡岡辰一郎さん（下高崎）は、このほど長年にわたる消防団活動の功績が認められ、勲六等瑞宝章を受章されました。館岡さんは、昭和十八年に弱冠十六歳で五城目町消防団に入団。以来四十三年間、部下団員の指導、火災予防運動の推進強化、消防設備の整備拡充に精励。昭和六十一年、消防団分団長を最後に消防団を勇退し、六十二年五月、急性心不全のため五十九歳で逝去されました。

この間、副分団長七年、分団長を五年務めています。また、昭和五十一年に日本消防協会から永年勤続功労章が贈られたほか、県知事から五十四年に三十五年勤続章、翌五十五年には有功章が授与されました。

小鎌さんに表彰状

老人ホーム（森山荘）の小鎌秀子さんに、このほど秋田県調理師連合会会長より表彰状が贈られました。

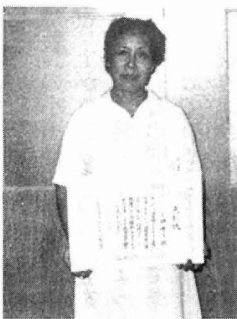
これは、地域住民の調理知識の普及、並びに調理技術技能の向上を図り、地域の発展に献身的に尽力されたことが

・農政に対する批判は依然として強く、マスコミ・消費者に理解を求めるため我々も理論武装で対応する必要がある。これから三年間は苦しい財政下で厳しい内外の圧力に耐え、この引下げ等我国の農業の課題と厳しい環境の下にある。

内需拡大と称する経済運営の転換が土地利用の各種規制の緩和を焦点とし、農地に対しても利用、税制の面から圧力を強めている。加えて農業

基礎づくりと専念しなければならぬ。農業委員の活動は、農業者の利益代表として幅広い農政活動と取り組むのは当然であるが、とりわけ「農地を守り有効利用する」組織運

た、昭和五十一年に日本消防協会から永年勤続功労章が贈られたほか、県知事から五十四年に三十五年勤続章、翌五十五年には有功章が授与されました。



表彰状を手にする
喜びの小鎌さん

国保だより

こんなときには必ず届け出を
届け出は14日以内に

転入してきたとき、他の健康保険をやめたとき、生活保護を受けなくなったとき、子どもが生まれたときには、国民健康保険に加入する届け出をしなければなりません。

また逆に、転出するとき、他の健康保険に加入したとき、生活保護を受けるとき、加入者が死亡したときには、国民健康保険をやめる届け出をしなければなりません。

届け出は、ともに十四日以内に済ませなければなりません。届け出が遅れると、みなさんの負担が大きくなりますのでご注意ください。

加入の届け出が遅れると
国保に加入しなければならぬのに届け出が遅れると、国保税をさかのぼって払わなければならないとなったり、保険証がないため、その間の医療費は全額自己負担となります。

やめる届け出が遅れると
国保の資格が無くなったのに届け出が遅れると、保険証が手もとにあるため、うっかりそれを使って診療を受ける人がいます。このようなときは、国保で負担した医療費は、あとで返していただくことになります。

医療費の節約は 国保税の軽減へ

被保険者一人ひとりが医療費を大切に使うこと、それが国保税の引き上げを防ぐことになるのと同時に、みんなの健康を守る早道です。

保険税は国保運営の財源
年々増加している医療費ですが、昭和六十一年度の国民健康保険特別会計から毎月支払われている額はどの位なのかといえますと、老人保健医療費拠出金を含めて、月平均六千六百元が支払われています。これだけの金額を毎月滞りなく支払っていくためには、ある程度の繰越金と、国からの負担金、そしてみなさんから納めていただく保険税が必要となります。

保険税については、できるだけ納期内に完納していただかないと、国保事業の運営に支障をきたします。保険税は国保を運営するための重要な財源なのです。



町民の踊りの輪

全町盆踊り大会17日開催

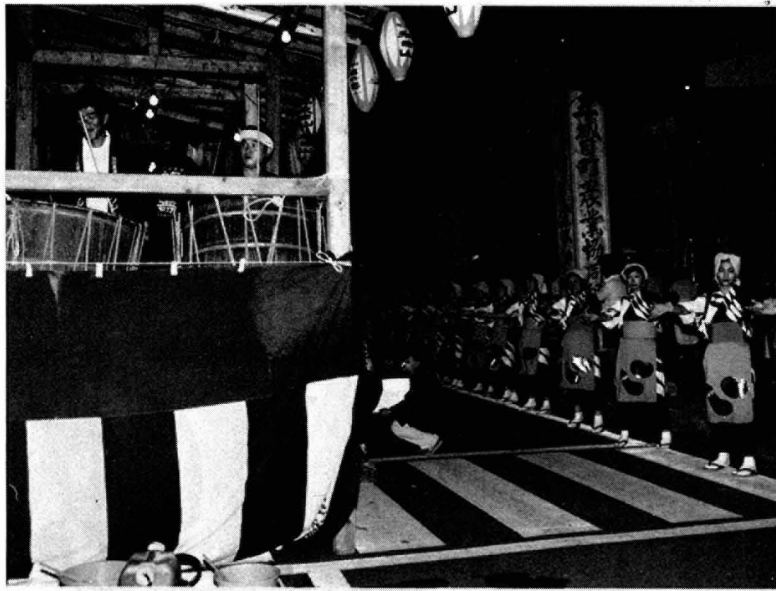
全町盆踊り大会（五城目町盆踊り大会）は、八月十七日（月）、午後七時半より中央線通りを会場に開催されます。

大会会場が中央線通りに移

ってから今年で三年目。バス
ターミナル前から新町交差点
までの約三百メートル間は、
踊り手や見物人でにぎわいま
す。交通規制は、午後七時か
ら十時半まで行われますので

ご注意ください。

大会では、チーム編成の部
門ごとに審査し、優秀チーム、
個人を表彰します。団体は六
人以上の編成で、一般団体（青
年団体を含む）、職場団体、
中・高校団体、町外団体の四



昨年全町盆踊り大会

優勝五万円が魅力

馬場目川川下り大会

第六回夏祭り馬場目川川下
り大会が、八月十六日（日）、
五城目町と八郎潟町両町商工
会青年部の共催で行われます。

この大会は、河川美化の標
語を掲げた手作りのイカダで、
五城目橋から竜馬橋までの馬
場目川約四キロを下り、アイ
デア、標語、タイムの総合で
順位を競うもの。動力は人力
だけで、固定オールは使用で
きません。また、イカダに乗
る人は二人から十人までで、
救命胴衣を必ず着用してくだ
さい。参加費は、傷害保険料
として一人五百円必要です。

昨年から参加の魅力とし
て加わった賞金は、優勝チーム
に五万円、二位に三万円、三
位に二万円が贈られます。こ
のほか各賞があり、今回新た
に家族を対象とした「ファミ
リー賞」も設けられ、それぞ
れに賞品が贈られます。また、
残念ながら入賞できなかった
チームにも、参加賞として四
千円相当の賞品が準備されて
います。

参加チームの集合時間は、
午後一時半。午後二時から二
時半の間に時間を区切ってス
タートします。

参加の申し込み締め切りは
八月十日。申し込みと問い合
わせは、五城目町商工会（☎
52-3460）へ。

千代田区との都市交流に向けて

⑪

いざという時の

助け合い

都市と農山村の交流の中で
注目すべきメリットのひとつ
として、いざという時の助け
合いの防災協定があります。

災害に対する防災体制は地
域内の自主防災組織の整備だ
けでなく、全国的支援体制や
地域社会間の支援体制が不可
欠であります。都市には都市
独自の防災や救援上の問題点
があり、農山村には農山村独
自の防災や救援上の問題点が
あります。

そこで農山村から農山村の
持っている資源を生かして都
市の防災と救援に力を貸し、
食糧、木材、疎開地などを提
供し、都市からは農山村の災
害に対して、強力な輸送力と
救援資材の供給力を発揮する
ことがお互いの防災力を補い
あうこととなります。防災を
柱にした協定と交流は災害が
起こらないにこしたことはあ
りませんが、一旦、災害が生
じた時には非常に大きな力を
発揮します。

関東大震災や戦後の復興の
ため五城目町から東京都へは
大量の木材や救援物資が送ら
れています。当時の五城目町
の木材産業は県内の他の木材
主産地から羨まされるほどの

輸送力を持っており、五城目
町で産出される原木の製材だ
けでなく他町村で産出される
原木も製材して東京都へむけ
て出荷しています。出荷され
た木材は「東京木材共同移入
組合」組合員・長谷川太氏
（千代田区神田松永町10）を
通じて千代田区へも大量に供
給されています。

高齢者の 交流

都市の高齢者にとって、農
山村は、自然と接し、農作業
を通じて土に触れ、植物を育
てるなど生きがい環境として
十分な意義をもっています。
そして、都市と農山村の高齢
者がゲートボールなどスポー
ツ・趣味の交歓、お互いの伝
統・文化の習得を図ることは
高齢者の生きがいのひとつと
して高齢化社会が進行する中
で注目されています。

また、高度成長時に農山村
から大都市に移住し、あるいは
転勤をくりかえしてきた人
々が定年を迎える時期であり、
老後は田舎で暮らしたいとい
う人も多く、都市と農山村の
高齢者が結びつき、知識と経
験を生かすことによって地域
社会が活性化し、高齢者の役
割を向上させることができま
す。

水の日・水の週間

8月1日 8月1日～7日

命の源・水

多雨地帯日本でも

使える水はわずかです

ガラスと照りつける太陽。水の使用量がピークになるこの季節は、毎年のように水不足が心配されています。特に今年は暖冬の影響で水源地近くの積雪が少なかったり、春先の降雨量が例年に比べて極端に少ないことなどあって気がゆるめません。八月一日は「水の日」、この日から「水の週間」もスタートします。これを機会に、限りある水資源への理解を深め、水の使い方の一工夫してみましょう。



貴重な水資源を守っていくためには、わたしたち一人ひとりがふだんから節水を心掛けることが大切です。例えば、次のような工夫をしてみてもいいでしょう。

▼浴槽の残り湯を利用する
小さな浴槽で約二百リットルの水が入ります。せめて残り湯の半分くらいは洗濯、掃除、まき水などに使ってみてはいかがでしょうか。

▼歯みがき中の水の流しっぱしはやめる
歯みがきは、普通コップ三杯程度の水ですみます。しかし水を流しっぱしにすると、一分間で約六リットルの水がムダになってしまいます。

▼洗車はバケツに水をくんでホースを使い水を出しっぱしで車を洗うと、バケツに水をくんだ時の約六倍の水が必要です。出しっぱしは厳禁。

このイベントは、地区住民の交流と親睦を図ることを目的として行われるもの。大川地区以外の方も参加できます。主な内容は次のとおりです。

「トメ」さんがやってくる

大川村つこフェスティバル'87

▽ステージの部

大川村つこフェスティバル'87が、八月十六日(日)、午前十時から大川小学校とその周辺を会場に、大川青年会(会長・館岡正和さん)の主催で開催されます。

▽展示・販売の部

五城目町物産展、大川物産展、自転車、オートバイ展、模擬店

焼きそば、かき氷、ホットドック、やきとり、缶ジュース、わたあめ(体験コーナー)

▽入場料(大川地区以外の方)

大人(中学生以上)、前売200円、当日300円、小学生、前売、当日とも、100円、幼児は無料。

▽お問い合わせ先

大川農村環境改善センター伊藤(☎75-5067)か、北宇商店(☎75-2048)まで。



五城目城

今村コレクション 特別展を開催

森林資料館「五城目城」では、八月一日から町功労者今村久吉郎さんの所蔵品の特別展を開催しています。

今村さんは、明治三十五年当町に生まれ、昭和三年京都帝大医学部を卒業。その後、同大医学部、市立京都病院に勤め、京都二条保健所長、衛生局長などを歴任。

三十三年、郷里五城目に帰り六十年まで五城目保健所長を勤めました。この間、厚生

大臣表彰、五城目功労者などの表彰を受け、五十四年には勲四等瑞宝章を受章しています。

今回の特別展には、陶芸家河井寛次郎氏の作品が数多く展示されていますが、これは今村さんが京都時代、河井氏と親交を深め、所蔵するようになったとのこと。

この特別展は、十一月三十日まで開かれます。



河井 寛次郎作

「草花文扁壺」

夏の交通安全県民総ぐるみ運動

8月1日～8月10日

飲酒運転追放県民運動
シートベルトの正しい着用運動
強調月間

8月1日～8月31日

8月8日・9日・19日・20日 ヘリコプター防除に協力を

五城目町航空防除協議会
(伊藤準一 会長) では、水
稲イモチ病などの航空防除を
次の内容で行います。

航空防除は、ヘリコプター
で行われます。同協議会では、
町内の皆さんに航空防除につ
いて、ご理解とご協力をお願い
しています。

▽散布予定日・地域

・一回目 八月八日・九日
寺庭、合地、上山内、高樋、
内川

・二回目 八月十九日・二十
日 大川、五城目、森山、
下山内まで、小野台まで、
(天候不順または異常発生
の場合は、予定を変更する
ことがあります)

▽散布時間

午前五時～午前九時ころ

▽使用農薬

・一回目(イモチ病、ニカメ
イチュウ、ウンカ)
ラブサイドスミチオンゾル
・二回目(イモチ病)
ラブサイドゾル

航空防除による危害、被害
防止のため、次の注意事項を
守ってください。

人体に対する危害防止

①散布中は戸外に出ないよう
にする

②洗たく物は戸外に出さない。
戸外乾燥中のものは屋内に
入れる

③散布後の水路などで洗たく
物や野菜の水洗いはしない

④野菜や果物は必ず洗剤で洗
ってから食用する

⑤散布中は、散布区域での農
作業などはやめる

家畜に対する危害防止

①散布中は、畜舎の窓を各種
材料で農薬が入りこまない
ように閉じる

②散布当日は、家畜をその地
域内に入れることを避け、
戸外につなぐとか放し飼ひ
などしないように注意する

③牧草などの必要のあるとき
は、あらかじめ刈り取って
収納してから利用する。散
布後牧草やあぜみちの草を
青刈飼料として与える場合
二週間以上おいてから与える
魚介類に対する危害防止

①庭池などには覆いをし、水
道などきれいな水でかけ流
しをする

②散布当日はえさを与えない

③養魚池の水源として川の水
や農業用水を利用してある
場合は、散布前に十分取水
して水量を豊富にし、農薬
が飛散しても給排水できる
ようにする

杉苗、タバコについて

①耕作者は、作付け圃場の箇
所などを実施主体に必ず連
絡報告する

②圃場が散布区域から除外さ
れているかどうかを必ず確
認してください

農作物などの薬害防止

①従来の畑地のほか、転作に
よる野菜、そのほかの作物
で被害のおそれのあるもの
が散布区域内にある場合は、
危険標識旗(黄色の旗)を
設置して識別をはっきりし
てください。

自動車などの塗装について

①青空駐車はやめ、散布区域
内にある車は、車庫に入れ
るか、シートやビニールな
どで覆いをする

②誤って薬剤付着の場合は、
ただちに水洗いをして薬を
落とす

わぬ事故に結びつきます。

せつかくの楽しい夏の夜の
ひとときが、ちょっとした不
注意から悲しい事故とならな
いよう、次のことを必ず守っ
てください。

①花火に書いてある遊び方を
よく読んで必ず守りましょ
う。

②花火を人や家に向けたり、
燃えやすいもののある場所
で遊んだりしないようにし
ましょう。

③衣服に火がつかないように
注意しましょう。

④風の強いときは花火遊びは
やめましょう。

⑤水を用意しましょう。

⑥大人と一緒に遊びましょう。

⑦たくさん花火に一度に火
をつけないようにしましょう。

⑧正しい位置に点火し、吹出
し、打ち上げなどの筒もの
花火は、途中で火が消えて
も筒をのぞいてはいけません。

⑨花火をポケットに入れては
いけません。

⑩花火をほぐして遊ぶことは
絶対しないでください。

役場は、お盆期間休みません。

役場業務は、お盆期間中の八月十三日と

十四日も平常どおり行ないます。

花火の事故にご注意を

夏の風物詩も原料は火薬

大人も子供も家族みんなで
楽しめる「おもちゃ花火」は、
夏の夜ならではの風物詩です。
しかし、「おもちゃ」とは
いえ、花火の原料は火薬です。
そのため、一歩取り扱いを間
違えると、ケガや火災など思



AGFコーヒー、AGFアイスコーヒー(スティックタイプ)、味の素、日清サラ
ダ油、リノールサラダ油、磯じまん、ニコニコのり、明治屋ミートセット、明治
屋缶詰、明治屋缶ジュース
ウェルチ100%果汁ジュース
カルピス、麒麟ハイパー
稲庭うどん、小岩井ジャム
フランスワインセット、各メーカーウイスキーセット、冷用酒セット、生酒セッ
ト、各メーカー清酒セット(純米酒、原酒、吟醸酒、冷用酒)、五城目城etc.

お中元は・・・

品数豊富な当店で

酒専門店

タカツ

五城目町中央通り

☎52-2262

昭和62年度

新成人を祝う 若人たちのつどい (成人式)



“ふるさと”について理解を深めよう

と き 昭和62年8月15日(土曜日)

つどい { ふるさとめぐり (バスで町内の名所、旧跡、施設等見学) 9:10~11:00
ところ { 記念植樹 (雀館運動公園古代井戸跡) 11:00~11:20
式典 (広域体育館) 11:25~12:55

第1受付 8:30~9:00 (広域体育館2階正面玄関)
新成人および「ふるさとめぐり」に参加する来賓、父兄、成人

第2来賓受付 10:30~11:00 (広域体育館1階職員玄関)
記念植樹および式典のみに参加する来賓、父兄

主催 五 城 目 町 主管 五城目町教育委員会

新成人を祝う若人たちのつどい

ご 案 内

あたらしく成人になられますことを心からお喜び申しあげます。

さぞかし、明るい希望と人生への期待に胸をふくらませておられることと思います。

りっぱに成長されたあなたの“はたち”の門出を祝うとともに、日本人としてさらに活躍されることを願い、このたび下記により「五城目町新成人を祝う若人たちのつどい（成人式）」を開催することになりました。

お暑い折ではございますが、ぜひ出席くださいますようご案内申しあげます。また、ご父兄をはじめ町民多数の出席をもご期待申しあげます。

記

- 1、と き 昭和62年8月15日（土曜日）
- 2、受付時間 第1受付 8：30～9：00 （広域体育館2階正面玄関）
新成人および「ふるさとめぐり」に参加する来賓、父兄
第2来賓受付 10：30～11：00 （広域体育館1階職員玄関）
- 3、つどいの時間および会場 {
 - ふるさとめぐり （バスで町内の名所、旧跡、施設等見学） 9：10～11：00
 - 記念植樹 （雀館運動公園古代井戸跡） 11：00～11：20
 - 式典 （広域体育館） 11：25～12：55
- 4、新成人該当者 昭和42年4月2日～昭和43年4月1日までに生まれた方で、五城目町に住民登録している方。
- 5、連絡事項 ①受付時間におくれないようにしておいでください。
②服装はできるだけ身軽なものがよいと思います。
③当日の記念植樹は、新成人の皆様からの募金（1人 200円）でまかなうことになっています。よろしくご協力下さい。
④本町に住民登録をしていなくとも、本町出身で町外に出ており、当日、出席を希望される方は、7月31日まで申し出てくださることになっております。至急五城目町公民館（電話0188-52-4415）へお申し込みください。

これをもって新成人へのご案内といたします。

昭和62年8月1日

五城目町長 加賀谷 力 司

昭和62年度新成人
町 民 各位

交通事故に気をつけよう

富津内川老々交通安全学習

富津内・内川地区老人クラブの合同交通安全ルール学習会が、7月18日、午前9時半から富津内地区コミュニティセンターで行われました。

五城目町老人クラブ連合会では、今年から新しく交通安全部会を設け、お年寄りの交通安全意識の高揚につとめることになり、その事業の一環として、富津内と内川地区の老人クラブが、この学習会を行ったものです。

当日は、同地区のお年寄り約70人が参加。大手駐在所の金田巡查長と佐藤巡查が講師をつとめ、自転車の交差点での横断方法などについて説明しました。この後、参加したお年寄りの皆さんは、車の泥はね、ドライバーによる国道付近へのゴミ投棄など、日ごろ悩んでいることや疑問に思っていることを質問していました。



婦人消防隊も堂々の参加

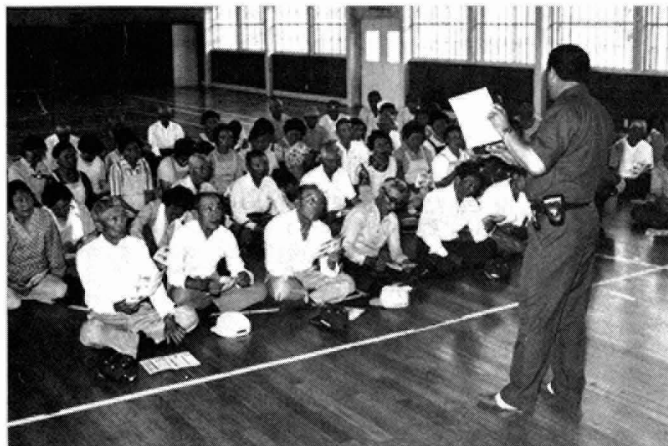
“フォト”が来町

町営住宅・朝市などを取材

政府の広報誌である“フォト”に連載中の「ふるさと'87」で当町が紹介されることになり、去る7月21日から23日までの3日間、時事画報社フォト編集部の清水治伯さんとカメラマンの石井義治さんが取材に訪れました。

両氏は、地場産業である木材をふんだんに使った矢場崎の町営住宅や、長い歴史をもつ朝市などを取材。自然豊かな当町の姿に感動した様子でした。

取材の様子は、9月1日発行の同誌に掲載されることになっています。



講師の説明を熱心に聞く皆さん

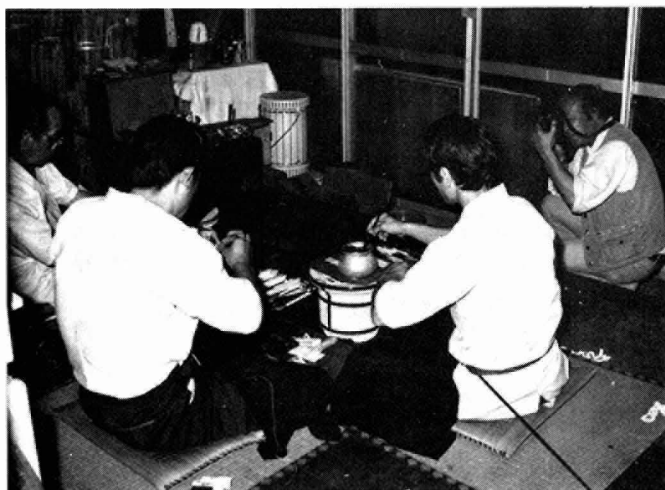
男鹿南秋大会に第8分団出場

五城目町消防訓練大会

五城目町消防訓練大会が、7月19日、五城目小学校グラウンドで行われ、各分団が毎日の訓練の成果を競い合いました。

競技の結果、小型ポンプ操法の部で第8分団、規律訓練の部では第7分団がそれぞれ優勝を果たしました。

なお、小型ポンプ操法の部で優勝した第8分団は、8月11日、大瀧村小学校グラウンドで開催される男鹿南秋支部大会に、当町消防団を代表して出場します。



御矢師永澤さんを“フォト”する石井カメラマン（右端）

氷を入れて
新発売
夏風味
すずきり
馬場目川清流
水ようかん
リキュールゼリーもどうぞ

お菓子の **しばた**
五城目町古川町 電話52-3238

靴・傘・カバン・シート
革製品の修理は当店へ…
太鼓の修理、張替、新調はお早目に！
山菜リュック・山用品各種製造

工藤カバン店
革具・シート

五城目町東磯ノ目(中央通り)
TEL 52-3343

結婚記念・弔明志・新築記念
お見舞・内祝・ゴルフ・運動会賞品
1品からでもお気軽にノ
♪ 贈る人の真心をお届けする
贈りもの専門店
シャデー代理店
南秋ギフトセンター
五城目町米沢町 ☎ 52-3523



卓球男子が準優勝

全県中学校総体

第三十六回全県中学校総合体育大会は、一部を除いて、七月十一日から三日間の日程で秋田市を会場に行われ、五城目第一中学校の男子卓球部が二位に、女子剣道部が三位に入賞しました。

全県大会の主な結果は次の

とおりですが、卓球男子団体水泳の伊藤誠晃選手、剣道の桜田瑞子選手は、今月行われる東北大会に出場します。

【卓球男子団体】

▽準々決勝

五一中 3-0 本荘南

▽準決勝

五一中 3-1 大曲

▽決勝

五一中 2-3 泉

佐々木 2-1 高橋

畑沢 0-2 幸埜

工藤 2-0 清水

松岡 2-0 三浦

伊藤清 0-2 畑沢

伊藤仁 1-2 須永

【剣道女子団体】

▽準々決勝

五一中 3-1 山王

▽準決勝

五一中 2-3 将軍野

【同個人】

五位 桜田瑞子

【水泳】

男子一〇〇M背泳二位(1分10秒53)、二〇〇M背泳三位(2分36秒33)

伊藤誠晃

【陸上】

女子三種A四位

佐々木裕美子

女子砲丸投六位 石井房子

南秋中学校総体

7月4日~5日

五城目一中大会成績

△団体▽

△優勝

バレーボール(男子)、卓球(男子)、剣道(女子)、

△優勝

松橋広樹(柔道)

佐々木修一(卓球)

沢橋直人(器械体操)

菅生真弓(器械体操)

猿田純(三年一〇〇M)

阿部直樹(三種A)

泉谷浩(三種B)

小林聡子(二年一〇〇M)

竹田潤子(共通二〇〇M)

宮城琴子(共通砲丸)

石井房子(共通砲丸)

佐々木裕美子(三種A)

佐川信子(三種B)

佐々木裕美子・竹田潤子・小林聡子・鈴木史子

(共通四〇〇Mリレー)

高温多湿の季節

食中毒にご注意

八月三日から九日までは、食品衛生週間ですが、これからの季節は、食中毒が多く発生します。高温多湿の気候が細菌の繁殖に適しているからです。

- ①新鮮な原材料を購入し、調理したもののは早く食べる習慣をつけましょう
- ②冷蔵庫は五度以下を目安に管理し、清潔につとめま



善意銀行
預託者
(敬称略)

七月七日

五万円 浅見内 工藤庸治

(亡父兼二様の香典返しとして)

七月八日

三万円 秋田市 原田武彦

(亡父龍男様の香典返しとして)

七月十三日

二万九千九百円 大川三区 伊藤幸夫

(高額医療費の一部を寄付したもの)

七月十五日

三万円 中村 佐藤芳雄

(亡兄良一様の香典返しとして)

七月二十日

三万円 寺庭 佐々木鉄太郎

(亡父鉄蔵様の香典返しとして)

七月二十一日

五万円 古川町 山田セツ

(亡娘尚子様の香典返しとして)

献血ありがとうございます



献血車による献血が、七月二十一日、町内四カ所で行われました。この献血に協力してくださいました方々のお名前は次のとおりです。(敬称略、太字は四〇〇ミリリットル献血者、数字は献血回数)

猿田 仁 23 宮城 正人 12
朝野 暢稔 23 千田 博幸 2

原田 功輝 31 石井 政則 27
渡部ミキ子 8 伊藤 武次 20
北嶋正千代 36 金野 実 22
金子 成敏 38 伊藤 敏和 3
煙山 誠次 17 西井 信夫 16
児玉 英一 27 嶋崎 一人 6
石井 光雅 33 伊藤 孝之 6
佐藤 幸男 20 小林 瞳 3
佐川 清 6 佐川 直子 2
武田 秀雄 27 伊藤 妙子 2
桑原 昌一 4 石井ハルエ 5
大石 信吉 9 佐藤 好男 1
大石 定祐 18 浅野 満 9
猿田 文子 6 館岡 敦 33
館岡 歌子 9 菅原 義国 15
村上敬二 5 佐々木久米雄 28
鳥井 孝一 10 伊藤百合子 21
大石 正広 26 工藤 清光 1
谷田部保美 40 渡辺 鉄男 59

高橋 作雄 50 佐々木 敏 19
伊藤 清 31 伊藤 一志 39
八柳 一義 10 小玉 利春 18
畠山ひろみ 3 安田カネノ 8
猿田ユミ子 19 伊藤初江子 1
石井 政幸 6 八柳 琢美 4
千葉 和彦 18 長谷川国夫 22
田中 稔 10 石井五兵衛 19
齊藤ミネ子 2 佐々木幸雄 26
金野 政志 11 加藤 巖 9
加藤 昭治 5 笹村 芳夫 31
湊 雄作 3 佐々木隆次 2
工藤 正広 3 今村 龍雄 1
湊 金子 4 伊藤彦磨呂 26
佐藤 俊一 13 石井 鉄弥 8
千田 賢悦 15 館岡 幸雄 20
館岡 金寿 32 山崎 章博 8
小畑 武博 25

七月二十一日
五万円 古川町 山田セツ
(亡娘尚子様の香典返しとして)



お知らせコーナー

あの人はいまどこに

家出人を捜す相談所開設

五城目警察署(電話52-4100)では、八月一日から三十一日までの一カ月間、家出人を捜す相談所を開設します。家出人や行方不明のわからない人は年々増えており、警察では皆さんから届け出を受け、全国に手配して捜しています。が、いまだに所在のわからない人もあります。

このような方々の中には、犯罪にまき込まれたり、不幸にも死亡されている場合も多くあります。

この相談所は全国一斉に開設され、相談所には身元不明者の服装や持ち物などの記録や写真を準備していますので、心当りの方はお気軽にご相談においでください。

防火管理者の講習会

申し込みは20日までに

防火管理者に必要な知識と技術を学ぶための講習会が開かれます。講習会の主な内容は次のとおりです。

▽場所 秋田市山王四丁目一

一 秋田県正庁

▽日時 九月十七日(木)と

十八日(金)の二日間

午前八時半～午後四時半

▽受講料 テキスト代三千円

▽受講対象者

事業所における管理者、監督的地位にある者で、防火管理者の資格を取得し、防火管理の業務を行おうとする者

▽申し込み方法

消防署に用意してある受講申し込み用紙に必要事項を記入して申し込んでください

▽申し込み締め切り

八月二十日(木)まで

▽申し込み、問い合わせ先

消防署(電話52-2028)

町の活性化論文を募集

町では、五城目町の活性化に関する論文を募集します。

これは、地場産業の振興、企業誘致はもちろんのこと、人材育成・伝統文化・伝統芸・ふるさと景観等「地域おこし」のためにどう取り組んだらよいか、その具体的な方策を町内外から募集し、「地域の特性を生かした個性的なまちづくり」の参考に資するために行なうもの。

応募された論文の中から、入選作品として一席一点、二席二点を選定。入選者は広報で発表し、町功労者表彰式典において報奨金(一席三万円、二席一万円)を授与し、表彰します。

▽論文の内容

・主旨にそった内容であること
・四百字詰原稿用紙五枚以内
・原稿用紙に書きづらいうちは、六千字以内であれば、用紙サイズは自由

▽募集期間

昭和六十二年八月五日～九月三十日

▽募集対象

町内外の方、どなたでも応募できます

▽送り先・問い合わせ先

五城目町上樋口字向川原12-2 役場企画調整課

(電話52-2100)

五城目町の美し選募集中

※自然美：四季のおりなす豊かな自然の美しい景観

※人工美：環境に調和した造形物の美

※暮らしの美：暮らしの中にみえる人情味ある情景。歴史・伝統のある生活様式にみる情景

※各部門の写真(サービスク判)と、撮影の月日、場所、簡単な説明文を加え、住所、氏名、性別、職業、電話番号を記入の上、六十三年三月十日までご応募ください。

▽送り先・問い合わせ先

五城目町上樋口字向川原12-2 役場企画調整課

(電話52-2100)

NHK青年の主張コンクール

秋田県大会の原稿を募集

NHK秋田放送局では、家庭、学校、職場、社会そして世界との関わりの中で、具体的な体験から自分が感じたことを考えたことなど、君のホッネを聞かせてほしい。をキヤッチフレーズに、県内の多くの若者から論文を募集します。

▽応募資格

・秋田県に住み、昭和三十七年一月十六日から四十七年四月一日までに生まれた方。

(性別・職業・学歴・国籍は問いません)

▽応募方法

・自分の主張を、五分以内で発表し終るようまとめた原稿を応募票とともに送る。

(原稿は四百字詰め原稿用紙四枚程度)

・応募は一人一編で、未発表のもの

・応募票はNHK秋田放送局に請求のこと

▽原稿応募締め切り

六十二年十月十七日

▽応募・問い合わせ先

〒010 秋田市山王1-1-2 NHK秋田放送局「青年の主張」係(電話23-5411)

「たすけあい」標語募集

共同募金運動40周年記念 県共同募金会では、共同募

金運動四十周年を記念し、小中学校の児童と生徒を対象に標語を募集します。

詳しい内容は次のとおりです。

▽内容 「たすけあい」「思いやり」「赤い羽根」にちなんだもの

▽申し込み方法 官製はがきに、標語、学校名、学年、氏名を記入して申し込んでください

▽募集期間

八月一日から九月十日まで

▽送り先 〒010 秋田市旭北栄町1-5 県社会福祉会館内

・県共同募金会(電話64-821)

年金展を開催

秋田会場では、国民年金制度の理解を深めていただくため、秋田市と男鹿市で「年金展」を開催します。

年金展では、年金相談コーナーをはじめ、年金をやさしく図解したパネルの展示コーナー、温泉無料招待券やテレホンカードが当たる年金クイズコーナーなどを設けます。

また、秋田会場では「国民年金竿灯」が演出され、竿灯期間中は夜の本祭にも参加します。

▽秋田市 本城西武デパート隣「買物広場」、8月6日、午前10時～午後4時

▽男鹿市 中央公民館(男鹿祭会場)、十月二十四・二十五日、午前10時～午後4時

テレホン広報「ごじょうめ」

52-4141

テレホン広報「ごじょうめ」

52-4141

テレホン広報「ごじょうめ」

52-4141

テレホン広報「ごじょうめ」

52-4141

テレホン広報「ごじょうめ」

52-4141

テレホン広報「ごじょうめ」

52-4141

テレホン広報「ごじょうめ」

52-4141

テレホン広報「ごじょうめ」

52-4141

テレホン広報「ごじょうめ」

52-4141

テレホン広報「ごじょうめ」

52-4141

テレホン広報「ごじょうめ」

52-4141

テレホン広報「ごじょうめ」

52-4141

お中元のご用命は

電話一本 配達OKです
(五城目・井川・八郎湯)



CVS あらかわ

五城目町旭町 TEL 52-3903

テレホン広報
「ごじょうめ」
ご案内

	日	土	金	木	水	火	月
7/26 ～8/2	みんなの広場 (学校紹介 五城目小学校)		暮らしのアドバイス 楽しい夏休み・教育委員会		町の見学案内 町の音を訪ねて 森山キャンプ場		今週のお知らせ
3～9	みんなの広場 (学校紹介 杉沢中学校)		暮らしのアドバイス 帰省客のみなさんへ				今週のお知らせ
10～16	みんなの広場 (学校紹介 五城目第一中学校)						今週のお知らせ

テレホン広報「ごじょうめ」
52-4141

野草のたのしみ ⑨

シラネアオイ

松浦修作
(小池町)



日本海側の多雪地帯に産する日本特産の多年草。近くでは森山の麓から、かなりの高地まで自生範囲は広いが、深山のブナ林に最も多い。馬場目奥地や、萩形ダムの上流にはシラネアオイの大群落があり、花時にはすばらしい景観である。かなり以前に、森吉山に登ったとき、急な登山

三年ほど前の五月中頃、シラネアオイの群落に出会った時、紫色の花が目に映っている中に白い花が目についた。夢中で斜面を駆け上がり、よく見ると五メートルほど離れて、もう一輪白い花が咲いていた。二株を丁寧に掘りとり、折れないように添木をしてリュックに入れた。

下山の途中念のためのぞいてみたが、目の錯覚ではなかった。やはり純白の花が二つ、リュックに収まっていた。一株は同好者に譲り、一株は地植えにしたが、待望の白い花は今年の春ようやく一輪だけ咲いた。

培養は大き目の中深鉢を用い、底に大粒のゴロ土を敷き配水をよくして、用土は鹿沼土、赤玉土、山砂の配合土に植え、陽光は午前中だけで充分。鉢植えよりも露地栽培がよく育つ。

おたんじょう
おめでとございます



△おかあさんの一言△
丈夫で元気に育ってほしい

山田達也ちゃん
(62.5.24生)
進・悦子さん二男/今町

伊藤香織 長女 5月21日 善和・まつ子 水沢
三喜男・エツ子 大川一区 浅野舞子 長女 5月25日
山田達也 二男 5月24日 孝咲・久美子 大川二区
進・悦子 今町 加藤真子 長女 5月28日
伊藤真一郎 長男 5月24日 清一・まゆみ 岡本二区
武美・由紀子 台御蔵下 畠山翔 長男 5月30日
越高庸平 長男 5月24日 厚・有子 落合

猿田麻衣子 長女 6月4日
順一・光子 上樋口上
御所野志穂 長女 6月5日
実千雄・ゆう子 矢場崎
菅生真貴 二男 6月5日
真・信子 新畑町
坂谷朱音 長女 6月7日
清行・秋子 畑町
畑澤貴大 長男 6月12日
正男・留里子 湯ノ又四区
児玉康平 長男 6月15日
朝規・清子 中村
畠山芽吹 長女 6月15日
俊孝・フミ子 富田
齊藤真吾 四男 6月20日
昭雄・桂子 下山内
工藤恵美 長女 6月21日
猿田歩 二男 6月22日
正広・静子 岡本一區
正俊・富士子 上樋口上
齊藤俊介 長男 6月25日
俊美・久子 館町
(敬称略)

おみやみ
申し上げます

(敬称略)

沢田石晃一 61歳 5月31日 湯ノ又一区 山田尚子 19歳 6月18日 合地 西野
工藤兼二 61歳 6月1日 浅見内四区 原田瀧男 73歳 6月19日 野田
佐々木キヨ 93歳 6月4日 恋地 館岡ウメ 83歳 6月26日 下高崎
加藤文治郎 60歳 6月6日 石崎
佐藤キヨノ 71歳 6月6日 中村
金子ナカ 82歳 6月7日



町の人口と世帯

7月1日現在

人口	15,228	人 (-3)
(男)	7,253	人 (0)
(女)	7,975	人 (-3)
世帯	3,929	世帯 (+1)

※ () 内は前月との比較